



モンゴルの学校と zoom で交流しました！

5月23日(火)16時から40分間モンゴルの学校とzoomで交流をしました。昨年度と同じように、新型コロナウイルスの影響を考慮してオンラインで行いました。交流先の学校は、こちらでもまた昨年度と同じくモンゴルの首都ウランバートルから北へ約400kmのところにある、セレンゲ県フーダー群国立小中高総合学校という学校です。写真のようにのどかな雰囲気などところにある学校で、壁は青色らしいです。今回の交流では、学校説明とフリートークの2つをしました。学校説明では、相手校は部活や施設についての説明、本校からは自治会や幹部についての説明をしました。桜修館からは、学校の代表として自治会役員6名が参加しました。



参加者の感想



前回よりも相手との会話ができたと
思った。相手の反応を見ながら会話を進めること、分からなかったら聞き返すことを意識した。お互いの国のことを知り、有意義な時間だった。特にモンゴルの学校には日本の学校で聞いたことのないような部活があることを知り、とても興味深かった。反省点はフリートークに入った際に、話すことを準備しきれておらず、時々沈黙してしまう時間ができたことだ。

次回からはどんな簡単な質問でも5つは聞きたいことを用意しようと思った。また、ただ座って話すだけでなく校内ツアーなど学校にいるからこそできることを発表に取り込んでいきたい。 四年副会長

お互い英語は完璧ではないものの、聞こうとする意志、伝えようとする意志が繋がり合い、よい交流になった。

発表の面では、パワポを用意することで伝えたいことが明瞭に届いたのではないだろうか。

また、私の個人的な感想としては、フリートークの間に、自らの英語

力の低さに絶望したため、自分の英語を上達させ、次はよりよい交流を持ちたいと思った。 四年役員

当日相手校の方が停電になるというハプニングに見舞われたが、実施時間の短縮など適切な対応など取った上で実施出来て良かった。しかし、時間が最高40分と決まっている中早めに始めたため、終了が早まることが予想されたが、予定通りに進めたことで突然の終了を迎えてしまったため、次回はスケジュールのズレにも対応しながら進めていけるようにしたい。

また、こちらも相手もハウリングしやすい環境になっており、今回は片方のパソコンを別室に配置することで対応したが、相手方はハウリングしたままだったため、その改善が図れると尚良いと思う。 四年会計

2回目ということで、前回よりもリラックスして交流することが出来た。また、前年度からの顔見知りの方とももう一度お話することができ、いつか対面でお会いしてみたいという気持ちがさらに強くなった。

しかし先輩方の英語力に頼り切る形になってしまった為、事前に伺いたいことをまとめておくなどして、もう少し積極的に会話を楽しみたいと思った。より沢山の生徒さんと交流を共にできること、国を跨いで友情関係を作ることを夢みて、英語力の向上に務めます。 三年副会長

相手校のハプニングがあったり、質問途中で終了してしまったり、様々な問題点はあったが、2回目の交流と考えればとても良い結果だったのではないだろうか。相手校について前年度よりも沢山のことを知ることができ、こちらもより多くの情報を届けることができたと思うので、ぜひ次回は対面で会って直接話してみたい。 三年役員

今回の交流ではお互い様々なことを学べていい経験になったと思う。

その中でいくつか改善点もあった。

一つ目は、時間が短かったとい

点だ。学校紹介をした後、質問をしている途中で予定時間を過ぎ終わってしまった。

まだ、様々なことを質問し合いたかったため次回はもう少し計画的なスケジュールを作り改善したい。

二つ目は、時間がなかったこともあるが内容が少し薄かった点だ。

お互いの学校紹介と質問だけでは、知ることのできる情報が少なかった。実際の状況を動画などで見てもらうようにしたりし改善したい。

次回は、より良い交流ができるようにしたいと思う。

二年役員

現在はまだ、より円滑な交流を模索している段階だが、いずれは海外の学校の本校にはない良さを取り入れていけるとよいと感じた。相手校にとってもそのような今よりもさらに有意義な交流になるとよいと思う。 二年役員